
ぬいぐるみ

おーちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぬいぐるみ

【Nコード】

N9694A

【作者名】

おーちゃん

【あらすじ】

あなたが大切になっている（大切にしていた）ぬいぐるみがある夜話し始めたらどうしますか？これは、そんな1夜の物語です。

（前書き）

はじめまして。おーちゃんと言います。

初投稿なので、こんなでいいのかな…って不安はありますが、よければ読んでやってください。

そして、心の広い方、是非感想をください。酷評でも全然構いませんので…。お待ちしています。

「ねえ、なんか返事してよー」

夜寝る前、ベッドのまわりに飾ってあるぬいぐるみに話しかけるのが私の日課。痛い子って自分でもわかってるけど、これだけはやめられない。

いつもは、なんの返事もなく諦めてるんだけど今日は違った。

『いいよ！ボクでよければ話し相手になるよ！』

自分の耳を疑った。…というか、自分が今起きてるのが夢の中なのかわからなくなった。

「夢？」『夢じゃないよ！ボク、ずっとキミと話したくてウズウズしてたの！やつと神様が許可くれたんだ！』

そう言うのは紛れもなく1番気に入ってる犬のぬいぐるみ。ご丁寧に前足を一生懸命動かしながらしゃべってくれる。その様子が可愛くて可愛くて！

「ずっと私と話したかったの？」

『うん！今までボクのことを大切にしてくれてありがとって伝えなかったんだ！もちろん、これからも大切にしてくれ！』この子、ちゃっかりしてるんだけど。でも、可愛いから許せちゃう。

「私も、おまえにお礼が言いたかったんだあ。辛いときも、寂しい時も苦しい時も、もちろん嬉しい時も楽しい時も、いつも一緒にいたよね。おまえが私の1番の親友だよ！これからも出来の悪い持ち主かもしれないけどよろしくね」

『もちろんだよ！でも、そんなこと言われると、ボクテレちゃうよ…（／／／／）』

テレて真っ赤になりながら、しゃべるなんて…可愛い！！！！本当、この子がぬいぐるみだなんて思えない！でも、生きてる犬でもないよね。生きてる犬がこんな可愛いこと言ったりしたりするところ想

像できないもん。

私たちは、2人で一晩中語り合った。出会ってから今まで長かったから、一晩では話しきれないくらい。こんなに楽しい夜は初めてなのに、今日に限って朝が来るのが早い気がする。太陽のバカ…。

『あつ朝だ…。ボク、そろそろ元のぬいぐるみに戻らなきゃ。』

「えっなんで？もつと話していようよ！」

太陽が顔をのぞかせた頃、急にこんなことを言い出した。

『ボクも本当はもつと話していたけど、神様との約束なんだ。ごめんね！！もう、お話することはできないかもしれないけど、ベツドの上からいつもキミを見守ってるよ！大好きだよ！キミに買ってもらえて本当に嬉しいんだ！ねえ、最後に一つだけボクのお願い聞いてくれる？』

もうお別れだと思うと涙が出てきた。

「最後なんて言わないでよ。話せなくなるだけですつと一緒にいるじゃん。」

『そうだよね！ごめんね！ねえ、笑ってよ！そして、話せるボクから最後のお願い。これならいいでしょ？』

「うん…本当にぬいぐるみに戻っちゃうんだね。寂しくなっちゃうな。」

『チューしていい？ボクね、作られてる時からずっと、買ってくれた人がボクを大事にしてくれたら、チューしたいなって思ってたんだ。人間って好きな人とチューするでしょ？うらやましくてさあ。ぬいぐるみとチューなんて嫌かな？』

私はもう声も出ないくらいに泣いてたから、首を横に振りつつ、頑張って笑顔になった。涙は流れたままだけど。

『ありがとう。目瞑って！ボクからチューしたい！』

私が言われた通り目を瞑ると、毛のようなものが口に当たった。そつと目を開けると

『ボクの夢を叶えてくれてありがとう。またいつかお話したいな。これからも、毎晩ボクに話しかけてよ？そうじゃなきゃボク拗ねちゃうから！！！』

とだけ言ってまた動かなくなった。

「ちよつと！私の返事も聞いてよ！これからも、何があっても一緒にいてよ？本当におまえのこと大好きだから。チューしてくれて嬉しかった。一晩ありがとう。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9694a/>

ぬいぐるみ

2010年10月18日11時20分発行